

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 海津特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月7日(木) 13:10~15:10
- 3 開催場所 海津特別支援学校 会議室
開催にあたり、命を守る訓練に運営協議会委員が参加
- 4 参加者

会 長	児玉 泉	民生委員 (主任児童委員)
副会長	大橋 恵美子	共同生活援助れんげの家 所長 及び 管理者
委 員	水谷 芳郎	有限会社吉野屋 代表取締役 (欠席)
	白旗 徹	障がい者センター あいさんハウスぎふ施設長
	細井 豊年	海津市平田町今尾地区 前区長
	飯田 かゆ美	海津市更生保護女性会 会長 (欠席)
	棚橋 理恵	輪之内町発達支援教室そら 児童発達支援管理責任者
	片山 泉	海津特別支援学校 PTA会長
学 校 側	高橋 圭子	校長
	岡田 里香	教頭
	岩田 成生	事務長
	竹村 いづる	小学部主事
	橋田 直也	中学部主事
	馬淵 陽子	高等部主事

5 会議の概要 (協議事項)

- (1) 本校の現状について (校長)
- (2) 学校評価アンケートの集計結果について (教頭)
- (3) 各部の状況、児童生徒の様子について (各学部主事)
- (4) 委員からの意見

①命を守る訓練について

意見1: 皆、冷静で落ち着いていた。日頃からの訓練の積み重ねの成果である。また、火災と地震を聞き分け、ハンカチを自ら出すなどの行動あった。(複数)

意見2: ヘルメットをかぶっている児童生徒とそうでない児童生徒がいたのはなぜか。
⇒児童生徒は個々にヘルメットを持っているが、各教室に置いてある。今回は、体育館等にいたためヘルメットがない児童生徒がいた。

意見3: 安全に避難することを考えると、どの教室、体育館でもヘルメットを常備しておくことが必要なのではないか。また、ヘルメットがない場合の対応についても教示していくとよい。(複数)

- ⇒今後、予算等を検討し、整備していく。また、ヘルメットの代替になるものを提示したり、手で頭を守りながら逃げたりするなど、臨機応変に対応できるよう指導する。
- 意見4：高等部の生徒は、卒業後を見据え、教員の指示を待つのではなく自分で判断する力を付けてほしい。（複数）
- 意見5：行方不明者やけが人の想定がよかった。
- 意見6：階段でつまずいた生徒がおり、他の生徒との間隔がないと危険である。また、頭の大きさとヘルメットが合っていないと視界を遮ることになり危険である。

②学校評価アンケートについて

- 意見1：十分に良い評価だと言える。この高評価を継続してほしい。（複数）
- 意見2：教員の働き方改革については、分かりづらい。教員が定時に帰るのであればよい。
- 意見3：懇談については、十分である。学校の電話の取次ぎが17時30分までという部分が評価として低くなったのではないか。
- 意見4：地域との取組については共感する。
- 意見5：進路指導に関しては、部間で差があるのは、どの学校も同じ課題である。根気強く情報発信をしてほしい。

③学校及び学部の現状について

- 意見1：学校の説明及び学部の説明で、学校の活動がよく分かった。また、一人一人の笑顔が多く、日々の積み重ねが力につながっていく。
- 意見2：全校生徒の人数が41人であり、少人数である。一人一人と丁寧に向き合う、縦割り活動で上級生と下級生を関わらせて育てる、というよい面もある。しかし、大きい集団の中だからこそ付けられる力もある。

6 会議のまとめ

- ・第2回学校運営協議会では、学校評価アンケート結果の説明と各学部の活動説明を行った。
- ・学校運営協議会委員の意見を真摯に受け止め、学校運営の改善を図りたい。
- ・第3回は令和7年1月30日（木）を予定している。